

ONDOSA #3

～黙って話して～

ダンス × 無音

ダンサーの身体を持つ『差』をシンプルな環境で見比べる企画として
2013年よりスタートした「ONDOSA」。第三弾は無音10分という制
約の中で様々なダンサーがソロで舞台に立ちます。音楽に頼らずに身体
が観客に語り得るものを目撃してください。

人の身体 / ダンスの”差”の生成の不思議、また、その面白さと価値に
ついてじっくりとご覧くださいませ。ドリンクバーと軽食をご用意して
おります！（終演後アフタートーク有。）

2014.10/31~11/2(fri~sun)

10/31,11/1 は 19:00~open 19:30~start★ 11/2 は 16:30~open 17:00~start★

出演者は日替わりになります。

adv.2200yen door.2500yen

予約 / yumizaburou3@yahoo.co.jp(南) 企画 / 南弓子 <http://minamiyumiko.com>

@RAFT

中野区中野 1-4-4 丸ノ内線 中野坂上駅から：A2 出口を出て左に進み、2つ目の信号を左折。300m 直進し道路右側。
tel 03-3365-0307 行き方 JR・大江戸線 東中野駅から：西口を出て左に進み、3つ目の信号を右折。300m 直進し道路右側。

南弓子 希英
宝栄田 美理
安田 理英
KEKE
新宅一平
坂田有妃子
尾花藍子
加藤律彦代
京極朋智代
岡田智豆代
南阿豆章代
深見力ザキ
才屋耕太子
長吉福敦平
三橋俊実子
細川麻和
高橋原夏実
石原夏実
北川結子
藤由智子

ONDOSA#3 [10/31~11/2 出演者ラインナップ]

10/31(金) 新宅一平、尾花藍子、坂田有妃子、オカザキ恭和、南弓子、加藤律、三橋俊平、南阿豆、北川結、石原夏実、京極朋彦

11/1(土) 安田理英、KEKE、深見章代、岡田智代、南弓子、吉福敦子、加藤律、三橋俊平、高橋和誠、石原夏実、藤由智子

11/2(日) 新宅一平、宝栄美希、坂田有妃子、深見章代、南阿豆、吉福敦子、細川麻実子、長屋耕太、高橋和誠、京極朋彦、藤由智子

メンバープロフィール*

南弓子 京都市立芸術大学彫刻科出身。2004年より自作を発表。日韓ダンスコンタクト、横浜ダンスコレクションR2010など選出企画多数。『ダンスがみたい!新人シリーズ8』にて『オーディエンス賞』受賞。主な作品に「mushi-kerai」「BINTA」「万」「Miki」「mushi-kerai#2」など。「ダンスの普及を観客に媚びずに」を信条にイベント企画にも力を入れている。2012年春より「パー弓子」オープン、店長を勤める。2013年「ONDOSA」企画スタート。http://minamiyamiko.com/

吉福敦子 モダンダンス、バレエ、ボディワークを学ぶ。黒沢美香&ダンサーズのメンバーとして活動した後、1989年川口隆夫らとATA DANCEを結成。96年よりソロ活動開始。11年より作品毎にメンバーを組むUnit Dance Bookshelfを始動。最近では親子や一般向けワークショップも積極的にこなしている。動きの必然にこだわり「書物を読むようにダンスの行間を読み解く」を信条に活動中。http://www.studiogoo.net/

岡田智代 幼少より踊る。大学卒業後ダンスから離れる。15年後三児の母になって後、再び踊り始める。05年トヨタコレオグラフィアワードのファイナリスト。ソロ活動の他、セレノグラフィカ、多田淳之介、山下残等の作品に出演。ジェローム・ベル「サ・ショー・マスト・ゴー・オン」に出演。「おやっぺーブル」のメンバー。FAIFAIの野上編代とゆるマジユニット「OYADORI」を組みあちこち出演。ただ生きるように踊る。

高橋和誠 1989年1月26日生まれ。青森県八戸市出身。ダンスのルーツは幼少時の民舞にあり、その後ストリートダンスに傾倒。現在進行形でストリートダンスシーンとコンテンポラリーダンスシーンとの行き来をしながら創作活動を展開中。BIGBANG!! TOKYO/OSAKA 2010 特別賞、横浜ダンスコレクション EX 2012 最優秀新人賞、Sonar Sound Tokyo 2013 出演など。

加藤律 大学で演劇とダンスを始める。大学卒業後は主にダンスの舞台に出演。やのえつと、高野美和子、坂田有妃子、BABY-Q、渋谷知らズ等の舞台にダンサーとして出演。その他、ミュージシャンのMVへの出演、振付等も行う。

三橋俊平 京大文学部芸術学部パフォーマンス・アート学科卒業。大学在学中に身体表現に興味をもち、卒業後本格的に取り組み。2010年よりプロジェクトユニット「大人少年」を主宰。今までにダンサーとして小野寺修二、Heaven's Gate、GRINDER-MAN、synapseの作品に参加。HP yasukaokazaki.com/

京極朋彦 07年 京都造形芸術大学、映像・舞台芸術学科、舞台芸術コース卒業。卒業制作のソロダンスが学科最優秀賞、および学長賞を受賞。卒業後、ダンサー・振付家として国内外問わず活動する傍ら、ワークショップも展開。2012年「京都造形芸術大学ダンス企画」を設立と同時に京都の若手作家の作品制作と交流の場として「KYOTO DANCE CREATION」を立ち上げる。ソロダンス『カイロー』は今まで京都、東京、横浜、福岡、滋賀、北京にて上演。

安田理英 アラフォーツイ廃舞踏家。22歳から10年を過ごした大路駝儀を飛び出してからというもの、世間の荒波をなめてるなあと実感しつつツイバラの道をマイペースにブトー探究中。ソロの他、「ささらほうさら」というユニットを主宰。

新宅一平 京都にて舞踏の今綴子、振付家の山下残の活動に参加。上京後は伊藤キム主宰の「舞く未来」に所属。ダンサーとして、BABY-Q、小野寺修二、田畑真希らの舞台に出演。2011年、さらなる舞台表現の可能性を探るべく、ファンシーな創作ダンス集団「ドドド・モリ」を立ち上げる。

細川麻実子 加藤みや子ダンススペースメンバー。障害がある人を含む integrated ダンスカンパニーメンバー。幼少より加藤みや子に師事し、数々の舞踏舞台やアーティストとのコラボレーション企画に出演。ベルギーでのダンス留学を経て現在は指導者として、幼児から高齢者まで幅広い年齢層の人の創作やワークショップ等を実施。過去の作品「月夜にカナリヤ」「id〜意識ノナカノ無意識〜」「まにまに」等。シリーズ「かりそめ魅温」は進行形。studioCOMMU 経営スタッフ。

坂田有妃子 美術からダンスに興味をもち、モダンダンス、即興、コンテンポラリーダンスを習う。羊屋白玉 主宰『指輪ホテル』にもときどき参加。2008年〜ダンス作品を創りはじめる。

北川結 モモンガ・コンプレックス、21世紀ゲバゲバ舞踊団に所属。コンテンポラリーダンスを木佐貫邦子のもとで学ぶ。所属カンパニーの他に木佐貫邦子、伊藤千枝(珍しいキノコ舞踊団)、岩淵貞太、酒井幸菜など様々な振付家の作品に出演。近年では音楽劇『ファンファーレ』や日韓英国際共同制作『ONE DAY, MAYBE いつか、さっさと』(演出:Tristan Sharps)に出演し活動の幅を広げる。

石原夏実 パパ・タラフマラ舞台芸術研究所を経て、2010年より同カンパニーに所属。パフォーマーとして数作に出演。解散後は、オコヤクラブ、指輪ホテルなどの作品に参加。また岩手県遠野市にて大出早池峰楽の継承に携わっている。

南阿豆 幼少より絵を描く。2005年より舞踏に出会い、踊り始める。音や空間、様々なステレオタイプを超えて、大地の恵みを全身に受け、地球という自然と共に踊り続ける。2008年、コンテンポラリー田楽祭主宰。2009年新潟市土と水の芸術祭参加。代表作は、ソロ作品『Scar Tissue (傷跡)』。

オカザキ恭和 30歳目前に踊りはじめる。山田せつ子氏と出会いダンスカンパニー枇杷系をへて2007年よりフリーで活動。2010年墨田区八広の下町にアトスペース yahiro 8をひらく。町や地域とのつながりを軸としたイベント他、表現の土俵を広げる『藝とスープ』企画、下町独特空間で踊るロジダンスを展開中。暮らしに根ざした和の身体に関心があり郷土芸能に関わる活動も行う。江戸の身体を体感する『北斎ヨガ』考案者でもある。HP yasukaokazaki.com

深見章代 幼少よりモダンバレエを習い体験レッスンで自分はバレリーナになると決意。大人になるにつれ型にはまらないダンスに惹かれ2001年にダンスカンパニー高襟〜HAIKARA〜を結成。確固たる世界観とビジュアルにこだわった作風で都内各種アートイベントで引っ張りだこ。ファンを多く持つ。自身のダンス活動と共にダンス界の未来をかえるべく、子供への指導も熱心。Ballet&Dance UNO 主宰。DanceStudioUNO 経営。

KEKE 東京都出身。大学在学中に身体表現「ミイム」を和田千恵子氏やに指示する。現在はダンスと演劇、両方の舞台に出演する。最近では自身のソロ作品を作り始めている。

長屋耕太 京都造形芸術大学 映像・舞台芸術学科卒。学生時代、舞台写真活動と伝統芸能石見神楽、和太鼓の活動を行う。28歳でコンテンポラリーダンスを踊り始める。現在、NPO 法人 DANCE BOX 国内ダンス留学3期生として神戸に在住。大切なのは日曜日の街でなく平日の街に在ること。

尾花藍子 東京都出身。美大卒業後、パフォーマーダンスという形態を選び作活動をつくり始める。身体・美術・音楽の総合的な空間作品を発表している。近年、振付家としても活動を展開。http://animeof.blogspot.com/

宝栄美希 幼児期にタラフマラバレエをテレビで見たのをきっかけにモダンバレエを習う。日本女子体育大学卒業。2009~2010年ラベンセンターにて学ぶ。国内外のコンペティションにも受賞。日本全国表舞海外のフェスティバルに招聘され、ソロ作品を上演する。またコンタクトインプロビゼーションを基盤とするグループ活動を主宰。

藤由智子 日本女子体育大学舞踊学専攻卒。インプロビゼーションを軸に音楽家とのセッションを積極的。自身の企画として『Dance x Music』などの企画や、キャサリン、坂内ライブハウスなどで積極的に関与している。ダンサー・振付家地美佐子主宰のフェイェルパフォーマンスユニット『Feyel』では、踊り、シンセサイザー、鳴物担当。また、地美子と舞踏家の室伏鴻氏の新作にダンサーとして参加。2014年クイーンにて開催された Implusanzにて「電撃で踊らされる熱狂的なダンス」を踊る。

